

2012 (第18回)

都市ビル環境の日



● テーマ ●

これからのビルメンテナンス業の役割と使命



公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 会長

金子 誠

都市生活の楯としての 環境管理

今回で第18回を迎えます『都市ビル環境の日』行事を本年も開催できますことは、福岡県・福岡市・北九州市等の行政のご支援また関係諸団体のご協力の賜物であると衷心より御礼申し上げます。地域の環境衛生の向上と維持を目的として協会員の“手作り”で創設した行事ですが、18年の継続のなかで地域にとって“環境衛生の経年優化”という共有価値観を育みつつあることに大きな喜びを感じております。今年のテーマは初心に帰り「これからのビルメンテナンス業の役割と使命」と設定し、昨今複雑深刻化しつつある都市環境問題への解決アプローチを図ろうとするものです。

本年はまた福岡県協会の「創設40周年」の節目にもあたります。業界団体の当協会がこの『都市ビル環境の日』活動を通じて社会の公益社団法人へと進展できましたことにも改めて深い感慨を覚えるところです。

昨年は3.11東日本大震災を契機として、当行事も我が身のこととして“都市防災と危機管理”に全力で取り組みました。このようななか今年も私たちは異常気象が原因と思われる大きな風水害に見舞われています。今回のシンポジウムではこの自然災害の猛威に対し都市環境人工機能が如何に対峙していくかということも探りますので、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが一斉清掃美化活動「クリーンアップ福岡」へも会員企業のクリーンクルーをはじめ特別支援学校の生徒さんなど多くの方のご奉仕を賜ったことに深く感謝を申し上げ、本年行事開催へのお礼のご挨拶と致します。



福岡県知事

小川 洋

防災と安全への意識を高める 記念行事のご成功を祈念します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の社団法人設立以来、建築物の衛生的環境や安全性の確保を目指して業界の指導育成に尽力され、快適な都市環境づくりに貢献しておられます。毎年「都市ビル環境の日」には、シンポジウムの開催や公共の場の一斉清掃を行う「クリーンアップ福岡」の実施、子ども絵画コンクールなど、幅広く県民の建築物環境衛生の意識向上に取り組んでいただいております。ここに深く感謝いたします。

さて、わが国は昨年、東日本大震災という未曾有の大災害を経験しました。また、本県におきましても今年7月の九州北部豪雨等により、筑後川や矢部川を中心に山間部および河川の下流域で、がけ崩れや浸水が起り、甚大な被害が発生しました。県では一日も早く被災者の皆さんが元の生活に戻れるよう、全力を挙げて復興に取り組んでいます。

県では、総合的な防災対策の実施や、環境にやさしく、快適に暮らせる社会づくりなどを推進し、県民一人一人が福岡県に生まれ、生活してよかったと実感できる「県民幸福度日本一」の福岡県づくりを目指しています。

このような中、貴協会が「これからのビルメンテナンス業の役割と使命」をテーマに、ビルメンテナンスの立場から、自然災害などへの防災対応に重点をおいたシンポジウムを開催されますことは、県民の皆さんの防災と安全に対する意識を高める上で、大変有意義なことです。

記念行事のご成功と、貴協会のますますのご発展、会員の皆さんのご活躍を心から祈念します。



福岡市長
高島 宗一郎

まちづくりの重要な役割を担う ビルメンテナンス業に期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が今年も盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、日頃から建築物における衛生的で快適な環境づくりにご尽力いただき深く感謝申し上げます。

福岡市では、建築物衛生法に基づく特定建築物が現在900件を超えており、これらの建築物は人々が一日の大半を過ごす場であることから建物内部の安全で衛生的な環境の確保は非常に重要であると考えております。こうした中、福岡市では特定建築物を利用される皆様の「安心」を確保するため、特定建築物の維持管理状況について毎年ご報告いただいております。多くの施設で良好な維持管理が行われております。これもひとえに協会会員の皆様のご尽力によるものと感謝申し上げます。

しかしながら、近年、大型化・複雑化したビルが建設される一方、高度成長期に建てられたビルは老朽化の時期を迎えており、ビルの維持管理や長寿命化に取り組むアセットマネジメントやファシリティマネジメントといった手法が導入されるなど、建築物を取り巻く状況は大きく変化してきております。福岡市は、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」をまちづくりの目標像として掲げ、様々な施策を推進しており、ビルメンテナンス業は其中でも重要な役割を担うものと考えております。毎年開催される「都市ビル環境の日」では、建築物衛生に関する諸問題を取り上げたシンポジウムを開催されるほか、会員の皆様が多数参加される「クリーンアップ福岡」での清掃活動等が行われており、これらの行事を通して、環境衛生やまちづくりに関する認識や知識を深めるきっかけとなることを期待しております。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

協会の皆様の日ごろの活動に 深く感謝申し上げます

「都市ビル環境の日」記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

私達の日々の生活の場であり、仕事の場であるビルは、今日、様々な装置によって機能が高められ、その維持管理・保全の重要性が増しています。

福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物の快適な環境と安全性を確保するため、技術や知識の向上に努められるとともに、関係業界の指導育成にご尽力いただいております。また、毎年10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、シンポジウムの開催や、県内各地での清掃・美化活動など、住みよいまちづくりにも取り組んでいただいております。皆様の日ごろの活動に、深く感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害により甚大な被害をもたらされましたが、国民が心を一つにして、被災地の支援、復旧・復興に尽力した1年でした。今年は復興が本格化する中、本市としても、釜石市など被災地に対する支援を続けていくとともに、災害に強いまちづくりを推進することとしております。

このような中、貴協会が、「これからのビルメンテナンス業の役割と使命」をテーマに、自然災害と省エネルギーについて考えるシンポジウムを実施されますことは、大変意義深いことと思います。想像を超える規模の災害が発生する傾向にある近年、都市防災を考える上では、ビルの維持管理業務の果たす役割が非常に重要と考えます。このシンポジウムが、ご来場の皆様にとりまして、「防災」や「エネルギー」に関する認識や知識を深めるきっかけとなることを願っています。

結びに、福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。



10月4日 都市ビル環境の日設定趣旨



コミュニティの快適な環境創造をめざして

For a comfortable environmental creation of the community

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の場としての事務所ビル、生活の場としての高層住宅ビル、余暇の場としての興業場ビル、健康回復の場としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。

2012年度の テーマ

これからのビルメンテナンス業の役割と使命

都市化の進展に伴い、都市の形態及び生活様式は著しく変貌しています。昭和45年に制定された「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」は、建築物維持管理に関し公衆衛生の向上及び増進に資することを目的としています。そうしたなか、近年、衛生的で快適な生活環境の確保と同時に、防災対応や省エネルギー対応といった配慮型の建築物への関心がより一層高まるなど、建築物を取り巻く環境衛生の捉え方も大きく変化してきました。

一方、福岡においては地震、水害等の自然災害の態様も多様化し、特に不特定多数の人々が出入りする高層建築物などの災害においては、人命損傷の危険性がきわめて高く、憂慮されるところであります。建築物オーナーや利用者の防災と安全に対する意識及び省エネ意識が、従来にも増して必要不可欠な時代となりました。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会では、建築物の環境衛生にかかわる公益法人の立場から、関心が高まる都市におけるあらゆる自然災害及び省エネルギーに関し、私たちが如何にして社会に貢献することができるか、尚且つ時代に即したビルメンテナンス業はこれからどうあるべきかを考えます。そして、その成果を市民・県民の皆様方にとって縁の下の力持ち的存在となるべく発信してまいります。

プログラム

日時：平成24年10月4日（木）13：00～16：10

会場：アクロス福岡（1階 円形ホール）

13：00 受付開始

13：30 開会挨拶

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長 金子 誠

13：35 来賓挨拶

福岡県知事 小川 洋
福岡市長 高島宗一郎
北九州市長 北橋 健治

13：50 第5回子ども絵画コンクール入選作品発表

14：00 基調講演「歴史に学ぶ福岡県の気象災害」

気象予報士 松嶋 憲昭

15：00 休憩

15：10 パネルディスカッション

山口福祉文化大学 ライフデザイン学部教授 多賀 直恒
気象予報士 松嶋 憲昭
公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長 金子 誠

16：10 閉会挨拶

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 古賀 修

クリーンアップ 福岡

日時：平成24年10月4日（木）9：30～11：00

会場：福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺
公共施設の清掃及びゴミ収集等を実施

第5回 子ども絵画 コンクール

福岡 | 作品展示期間：平成24年10月1日（月）～10月12日（金）
展示場所：アクロス福岡 1階コミュニケーションエリア

北九州 | 作品展示期間：平成24年10月13日（土）～10月18日（木）
展示場所：グリーンパーク（北九州市若松区大字竹並1006番地）

〈テーマ〉 歴史に学ぶ福岡県の気象災害



講 師

気象予報士

松嶋 憲昭

(まつしま のりあき)

気象災害は予知が可能ですから、正しい知識と適切な対応があれば、最小限の被害で抑えることができます。しかしながら、これまで梅雨の大雨や台風で甚大な災害が繰り返し発生しているにもかかわらず、気象災害の恐ろしさは、あまり知られていないが実態です。

日降水量1,100ミリを記録した昭和32年7月の諫早豪雨や、2万人の死者が出た文政11年8月の台風などを例に、代表的な気象災害である「ゲリラ豪雨」「梅雨の大雨」「台風」のメカニズム・対処法などを分かりやすく解説します。

◎講師プロフィール

1954年福岡県生まれ。東京大学工学部を卒業。建設省(現国土交通省)に入省。2008年退官。1993年の鹿児島豪雨を契機に気象災害の知識普及活動を開始し、気象予報士と建設のキャリアを活かし防災技術などについての指導・講演を行っている。

著書「桶狭間は晴れ、のち豪雨でしょう」(メディアファクトリー新書)

パネルディスカッション

メインコーディネーター



吉次 正利

公益社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会
青年部第10代部長

Profile

吉次商事株式会社
代表取締役社長

パネリスト



多賀 直恒

山口福祉文化大学
ライフデザイン学部教授



松嶋 憲昭

気象予報士



金子 誠

公益社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会
会長

Profile

工学博士。専門は都市災害管理学、都市防災計画、都市景観論など。福岡県防災会議地震対策部会専門委員会委員長、福岡県建築物耐震改修促進計画検討委員会委員長などを歴任。日本建築学会、都市計画学会等に所属。名古屋大学・九州大学名誉教授

Profile

東京大学工学部卒業後、建設省(現国土交通省)で道路行政に長く携わるなか、沖縄総合事務局企画調整官、佐世保市助役、本四高速経営管理室長なども歴任し、2008年退官。株式会社富士ピー・エス 顧問

Profile

1952年生まれ。早稲田大学教育学部卒。株式会社朝日ビルメンテナンス代表取締役社長、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会理事、九州ビルメンテナンス連絡協議会副会長、一般財団法人建築物管理訓練センター副理事長

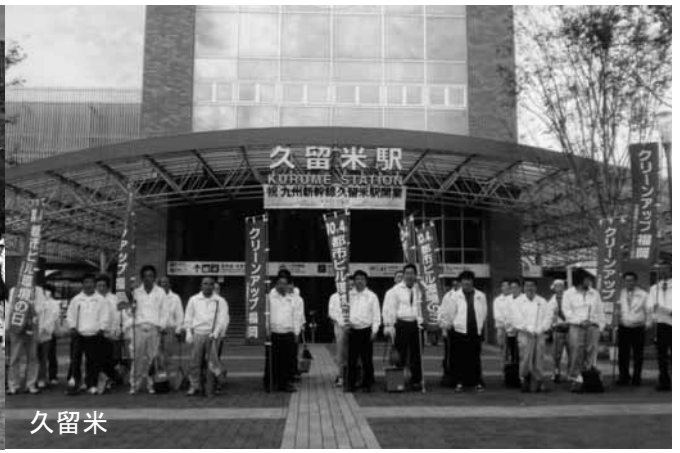
[併設] 特設展示ブース・各種コーナー

(アクロス福岡1階ロビー)





福岡



久留米

クリーンアップ 福岡

「さわやかクリーンアップ福岡」

都市ビル環境の日部会 株式会社 シンコー 仲前 友明

昨年の「3.11東日本大震災」、そして今年の「九州北部豪雨災害」と、日本では2年続けて大きな災害が発生しています。未だ復旧は完全ではありませんが、被災地の方々は復興に向けて精一杯活動されています。そうしたなか、今年はロンドンオリンピックが開催され、日本が38個のメダルを獲得するなど、日本選手の活躍が目につきました。明るい話題をもたらしてくれた選手一人ひとりに心から感謝したいと思います。

さて、今年の「クリーンアップ福岡」ですが、活動内容は例年通りです。各地区責任者の指導のもとで実施をお願いいたします。暗い話題の多い社会情勢ですが、当日はそれを払拭するようなクリーンな気持ちで頑張ってくださいたくお願いいたします。

シンポジウムについては、今年もアクロス福岡1階の円形ホールにて「これからのビルメンテナンス業の役割と使命」をテーマに、13時30分から開催いたします。会員の皆様、奮ってご参加ください。

例年申し上げていますが、当行事は公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の看板行事です。会員および賛助会員の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。



博多高等学園の生徒さん



大牟田



田川



大川



行橋



飯塚



北九州

写真は2011年10月4日実施分

会 場

公益財団法人アクロス福岡

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号
TEL. (092) 725-9111 (代表)



- 地下鉄空港線天神駅東口から徒歩3分
- 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から徒歩3分
- ※地下鉄空港線天神駅16番出口からアクロス福岡地下2階へ直接入館できます。

主 催

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後 援

福 岡 県

協 賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡県警備業協会
公益社団法人福岡県産業廃棄物協会
社団法人福岡県建築士会
社団法人高層住宅管理業協会九州支部
一般社団法人全国管洗浄協会
社団法人全国建築物飲料水管理協会福岡県支部
福岡県管工事業協同組合連合会
一般社団法人福岡県ベストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会